

日本胆道学会指導医新規認定申請書

1

日本胆道学会認定指導医制度規則及び施行細則に規定する指導医の新規認定を申請します。

申請日 年 月 日

申請区分 **新規**

受付日(※事務局記入) 年 月 日

会員番号	ふりがな		
—	氏 名		
生年月日	西暦	年	月 日生 ()歳
指導医カテゴリー (○印) ※複数申請可能	1. 内視鏡診断治療 2. 経皮経肝的診断治療 3. 癌薬物治療 4. 胆石・良性疾患外科治療 5. 癌外科治療 6. 放射線診断 7. 癌放射線治療 8. 病理診断		
申請地区 (○印)	北海道 東北 関東 甲信越 東海 北陸 近畿 中国 四国 九州		
所属機関名			施設認定: 有 ・ 無
職 位			
所属機関住所	〒 TEL FAX:		

履 歴 書

2

1. 学 歴

(西暦年・月)

2. 職 歴

(西暦年・月)

施 設 長 の 推 薦 書

3

推 薦 書

西暦 年 月 日

被 推 薦 者 氏 名 _____ ㊞

所 属 施 設 名 _____

職 位 _____

上記の者を常勤医として証明し、日本胆道学会指導医として推薦いたします。

推 薦 人 氏 名 ・ 公 印
(施設長・病院長) _____ ㊞

所 属 施 設 名 _____

職 位 _____

常勤＝週24時間程度勤務

医師免許証のコピーを貼付

縮小コピーし、台紙に収まるように貼付してください

- ・ 消化器病専門医
- ・ 消化器内視鏡専門医
- ・ 消化器外科専門医
- ・ 放射線科専門医
- ・ 小児外科専門医
- ・ 小児科専門医
- ・ 病理専門医

のいずれかの資格認定証のコピーを貼付

縮小コピーし台紙に収まるように貼付してください

重ねたり、折りたたんで貼らないでください

認定期限が本年末の場合は、更新後の専門医証のご提出を事務局から依頼することがあります

業 績 一 覧 表

6

(※2022年1月～2026年11月の業績を記載)

【学会出席】

※別紙 7 に、学会出席証明書コピー貼付

西暦年・月	学 会 名	開催地
	※日本胆道学会学術集会：過去5年間で必ず2回以上参加 第 回 日本胆道学会学術集会 第 回 日本胆道学会学術集会	

【胆道学会発表】

演者である場合は題名の前に○印をすること

シンポ、パネル、ワークショップ等は更に、(シ)(パ)(ワ)等を付記すること

※別紙 8 に、抄録のコピー貼付

西暦年・月	学 会 名	題 名
	第 回日本胆道学会学術集会	

【論文発表】【胆道論文査読】

筆頭執筆者の場合は題名の前に○印をすること

※別紙 9 に、論文第1頁のコピー貼付

「胆道」に掲載された論文の査読を担当された場合は(サ)を付記

西暦年・月	掲 載 誌	題 名

6 に記載した【学会出席】を証明する証書のコピー

学会出席を証明するための参加証や受講証、もしくはこれに準ずる証書のコピーを貼付してください
記名必須。文字が判読できるサイズにしてください
重ねたり、折りたたんで貼らずに、台紙を増やしてご利用ください

6 に記載した【胆道学会発表】の抄録のコピー

学会名、発表年、発表者名(申請者名)が判読できるサイズで、必要に応じて表紙や目次を貼付してください
開催年が分からないものは業績として認められません
重ねたり、折りたたんで貼らないでください
読み取れない場合はお戻しする場合があります

6 に記載した【論文発表】の第1頁のコピー

雑誌名、表題、著者名、発刊年月の記載のある頁も、判読できるサイズで貼付してください
重ねたり、折りたたんで貼らないでください
読み取れない場合はお戻しする場合があります

6に記載した【胆道論文査読】の証明は、
オンライン投稿・査読システム ScholarOne Manuscripts のスクリーンショットを貼付してください

診療実績一覧表

10-①

(※過去5年間の症例数を記載)

希望する分野の番号に○をつけて症例数を記入

※症例数は正確な実数を記載して下さい(全症例数を記載すること)

1. 胆道疾患に対する 内視鏡診断治療	ERCP 胆道EUS	2022 年	例	術者として20例の 症例一覧表 11-① を併せて提出 5年間合計 例 250例以上
		2023 年	例	
		2024 年	例	
		2025 年	例	
		2026 年	例	
2. 胆道疾患に対する 経皮経肝的診断治療	PTBD、 PTGBD PTGBA	2022 年	例	術者・指導的助手として20例の 症例一覧表 11-② を併せて提出 5年間合計 例 25例以上
		2023 年	例	
		2024 年	例	
		2025 年	例	
		2026 年	例	
3. 胆道癌症例に対する 薬物治療	薬物治療	2022 年	例	主担当者・指導的立場として20例の 症例一覧表 11-③ を併せて提出 5年間合計 例 25例以上
		2023 年	例	
		2024 年	例	
		2025 年	例	
		2026 年	例	
4. 胆石・良性疾患 外科治療	良性胆道疾患	2022 年	例	術者・指導的助手として20例の 症例一覧表 11-④ を併せて提出 5年間合計 例 50例以上
		2023 年	例	
		2024 年	例	
		2025 年	例	
		2026 年	例	
5. 癌外科治療	胆道癌	2022 年	例	術者・指導的助手として20例の 症例一覧表 11-⑤ を併せて提出 5年間合計 例 20例以上
		2023 年	例	
		2024 年	例	
		2025 年	例	
		2026 年	例	

診療実績一覧表

10-②

(※過去5年間の症例数を記載)

希望する分野の番号に○をつけて症例数を記入

※症例数は正確な実数を記載して下さい

6. 胆道疾患に対する放射線診断 (放射線診断専門医)	CT	2022 年	例	
		2023 年	例	
		2024 年	例	
		2025 年	例	
		2026 年	例	
	MRI	2022 年	例	
		2023 年	例	
		2024 年	例	
		2025 年	例	
		2026 年	例	
	胆道造影	2022 年	例	
		2023 年	例	
		2024 年	例	
		2025 年	例	
		2026 年	例	
7. 癌放射線治療 (放射線治療専門医)	胆道癌放射線治療	2022 年	例	(担当 例、指導 例)
		2023 年	例	(担当 例、指導 例)
		2024 年	例	(担当 例、指導 例)
		2025 年	例	(担当 例、指導 例)
		2026 年	例	(担当 例、指導 例)
8. 病理診断 (病理専門医)	胆道疾患に対する病理診断	2022 年	例	(担当 例、指導 例)
		2023 年	例	(担当 例、指導 例)
		2024 年	例	(担当 例、指導 例)
		2025 年	例	(担当 例、指導 例)
		2026 年	例	(担当 例、指導 例)

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー1）

11-①

※カテゴリー1の申請者は、例を参考に、下記一覧表に20例を記入すること

申請カテゴリー1	対象手技	申請内容
1. 胆道疾患に対する 内視鏡診断治療	ERCP 胆道EUS	症例一覧表 10 のうち、術者 20例の症例

患者番号	施行日	患者年齢/性別	施行手技	術者	疾患名
例	2026年5月30日	75歳/男性	ERCP	術者	遠位胆管癌
要約例	黄疸を主訴に来院。CTで胆管拡張あり。ERCPを施行すると下部胆管に約3cmの狭窄像あり。同部から生検し腺癌を証明した。検査後に軽度の膵炎を発症したが軽快した。				
1				術者	
要約					
2				術者	
要約					
3				術者	
要約					
4				術者	
要約					
5				術者	
要約					
6				術者	
要約					
7				術者	
要約					
8				術者	
要約					
9				術者	
要約					
10				術者	
要約					

※カテゴリー1は、術者の症例のみご記入ください。
※「要約」欄には、とくに胆道の病態に対する治療について記載してください。
※本様式(11-①～11-⑤)は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー1）

11-①

患者番号	施行日	患者年齢/性別	施行手技	術者	疾患名
11				術者	
要約					
12				術者	
要約					
13				術者	
要約					
14				術者	
要約					
15				術者	
要約					
16				術者	
要約					
17				術者	
要約					
18				術者	
要約					
19				術者	
要約					
20				術者	
要約					

※カテゴリー1は、**術者の症例のみ**ご記入ください。

※「要約」欄には、とくに**胆道**の病態に対する治療について記載してください。

※本様式(11-①～11-⑤)は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー2）

11-②

※カテゴリー2の申請者は、例を参考に、下記一覧表に20例を記入すること

申請カテゴリー2	対象手技	申請内容
2. 胆道疾患に対する 経皮経肝の診断治療	PTBD PTGBD PTGBA	症例一覧表 10 のうち、術者・指導的助手 20例の症例

患者番号	施行日	患者年齢/性別	施行手技	術者/指導的助手	疾患名
例	2026年6月10日	55歳/男性	PTGBD	術者	急性胆嚢炎
要約例	右季肋部痛を主訴に来院。Sonographic Murphy's sign 陽性。TG18で重症と判定しPTGBD施行した。有害事象なし。				
1					
要約					
2					
要約					
3					
要約					
4					
要約					
5					
要約					
6					
要約					
7					
要約					
8					
要約					
9					
要約					
10					
要約					

※「要約」欄には、とくに胆道の病態に対する治療について記載してください。
※本様式(11-①～11-⑤)は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー2）

11-②

患者番号	施行日	患者年齢/性別	施行手技	術者/指導的助手	疾患名
11					
要約					
12					
要約					
13					
要約					
14					
要約					
15					
要約					
16					
要約					
17					
要約					
18					
要約					
19					
要約					
20					
要約					

※「要約」欄には、とくに胆道の病態に対する治療について記載してください。
※本様式(11-①～11-⑤)は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー3）

11-③

※カテゴリー3の申請者は、例を参考に、下記一覧表に20例を記入すること

申請カテゴリー3	対象手技	申請内容
3. 胆道癌症例に対する 薬物治療	薬物治療	症例一覧表 10 のうち、 主担当者・指導的立場 20例の症例

患者番号	開始日（導入日）	患者年齢/性別	主担当者/指導的立場	疾患名	治療内容
例	2025年10月20日	77歳/女性	主担当者	胆嚢癌	GEM+CDDP
要約例	体重減少・右季肋部痛で来院。CTで上記診断、大動脈周囲リンパ節腫大あり。GEM+CDDP療法を施行。RECIST判定はSD。有害事象として白血球減少あり。 ※S-1術後補助化学療法は5例以下としてください				
1					
要約					
2					
要約					
3					
要約					
4					
要約					
5					
要約					
6					
要約					
7					
要約					
8					
要約					
9					
要約					
10					
要約					

※「要約」欄には、とくに**胆道**の病態に対する治療について記載してください。
※本様式（11-①～11-⑤）は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー3）

11-③

患者番号	開始日（導入日）	患者年齢/性別	主担当者/指導的立場	疾患名	治療内容
11					
要約					
12					
要約					
13					
要約					
14					
要約					
15					
要約					
16					
要約					
17					
要約					
18					
要約					
19					
要約					
20					
要約					

※「要約」欄には、とくに胆道の病態に対する治療について記載してください。
 ※本様式（11-①～11-⑤）は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー4）

11-④

※カテゴリー4の申請者は、例を参考に、下記一覧表に20例を記入すること

申請カテゴリー4	対象手技	申請内容
4. 胆石・良性疾患 外科治療	良性胆道疾患	症例一覧表 10 のうち、術者・指導的助手 20例の症例

患者番号	施行日	患者年齢/性別	施行手技	術者/指導的助手	疾患名
例	2025年10月10日	60歳/男性	腹腔鏡下胆嚢摘出術	術者	急性胆嚢炎
要約例	発熱、右季肋部痛で来院。血液検査ならびにCT・USによりTG18で軽症胆嚢炎と診断。上記手術施行。術中胆管造影施行し胆管結石なし。手術時間110分。出血量50ml。術後合併症なく3日目に退院。				
1					
要約					
2					
要約					
3					
要約					
4					
要約					
5					
要約					
6					
要約					
7					
要約					
8					
要約					
9					
要約					
10					
要約					

※「要約」欄には、とくに胆道の病態に対する治療について記載してください。
※本様式(11-①～11-⑤)は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー4）

11-④

患者番号	施行日	患者年齢/性別	施行手技	術者/指導的助手	疾患名
11					
要約					
12					
要約					
13					
要約					
14					
要約					
15					
要約					
16					
要約					
17					
要約					
18					
要約					
19					
要約					
20					
要約					

※「要約」欄には、とくに胆道の病態に対する治療について記載してください。
※本様式(11-①～11-⑤)は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー5）

11-⑤

※カテゴリー5の申請者は、例を参考に、下記一覧表に20例を記入すること

申請カテゴリー5	対象手技	申請内容
5. 癌外科治療	胆道癌	症例一覧表 10 のうち、術者・指導的助手 20例の症例

患者番号	施行日	患者年齢/性別	施行手技	術者/指導的助手	疾患名
例	2025年3月4日	72歳/男性	肝右葉＋尾状葉切除	指導的助手	肝門部胆管癌
要約例	黄疸を主訴に来院。胆管造影でBismuth2型の肝門部胆管癌と診断。門脈塞栓術ののちに上記手術を施行。手術時間540分。出血量2000ml。術後胆汁瘻あったが軽快し、40日目に退院。 ※出血量と手術時間を記載してください				
1					
要約					
2					
要約					
3					
要約					
4					
要約					
5					
要約					
6					
要約					
7					
要約					
8					
要約					
9					
要約					
10					
要約					

※「要約」欄には、とくに胆道の病態に対する治療について記載してください。

※本様式(11-①～11-⑤)は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

※申請書 10 で申請した該当カテゴリーの症例を記載（カテゴリー1～5で申請の場合のみ）

診療実績症例一覧表（カテゴリー5）

11-⑤

患者番号	施行日	患者年齢/性別	施行手技	術者/指導的助手	疾患名
11					
要約					
12					
要約					
13					
要約					
14					
要約					
15					
要約					
16					
要約					
17					
要約					
18					
要約					
19					
要約					
20					
要約					

※「要約」欄には、とくに胆道の病態に対する治療について記載してください。
※本様式(11-①～11-⑤)は申請されるカテゴリーのみご提出ください。

各領域1講座以上 受講証を提出してください

提出する受講証に☑をし、貼らずに 申請書類とともに同封してください

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1. 総論	☐	☐	☐	☐	☐
2. 内視鏡的・経皮経肝的 診断・治療	☐	☐	☐	☐	☐
3. 薬物治療	☐	☐	☐	☐	☐
4. 良性・悪性胆道疾患外科治療	☐	☐	☐	☐	☐
5. 放射線診断・治療	☐	☐	☐	☐	☐
6. 病理診断	☐	☐	☐	☐	☐

申請料納付の証(払込票のコピー等)を貼付してください

■申請料振込先:

金融機関名:三井住友銀行 神保町支店

口座番号:(普)2274135

口座名義:一般社団法人日本胆道学会

シャ)ニホンタンドウガッカイ

(恐れ入りますが、お振込み手数料はご負担いただきますようお願いいたします。)